

令和7年度 子宮頸がん検診における市町村 精度管理調査結果について

1. 調査の目的

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられています。その点から、がん検診の精度管理はきわめて重要です。この調査は、宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会子宮がん部会が、当県で子宮頸がん検診（国の指針に基づいたもののみ。以下同じ。）を行っている全市町村に対して、精度管理が適切に行われているかどうかを知る目的で行ったものです。なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

2. 調査の対象

この調査の対象は、当県で子宮頸がん検診（集団検診及び個別検診）を行っている全市町村です。

3. 調査の種類

- (1) がん検診実施状況調査（令和7年度実施分）
- (2) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査（令和7年度実施体制、令和5年度精度管理指標把握）
- (3) 精度管理指標数値（プロセス指標）の調査（令和5年度実施分）

4. 調査の流れ

	(1) 実施状況調査	(2) チェックリスト遵守状況調査	(3) プロセス指標調査
調査目的	指針に基づく検診及び指針外検診針の実施状況の把握	技術・体制指標の把握	プロセス指標調査の把握
実施時期	令和7年6月	先行調査 令和7年9月	令和7年7月
対象年度調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和7年度実施分 ・指針に基づく、がん種（胃・肺・大腸・子宮頸・乳、以下「5がん」）、検診方法、対象年齢、検診間隔にて検診を実施しているか ・指針外のがん種、検診方法、対象年齢、検診間隔にて検診を実施しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和7年度実施分 ・がん検診実施体制整備に関する調査 ● 令和5年度実施分 ・プロセス指標把握に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度実施分 ・検診受診率 ・要精検率 ・精検受診率 ・精検未受診率 ・精検未把握率 ・がん発見率 ・陽性反応適中度 ● 細胞診+HPV併用検診結果
結果	資料4	資料5、資料5-1	資料6、資料6-1、資料6-2
市町村への通知	指針外検診を実施している市町村に対し、検診内容の見直し検討を依頼	評価基準(C)を満たしていない市町村に対し、その理由と改善策について報告を依頼	評価基準（精検受診率90%以上）を満たしていない市町村に対し、その理由と改善策について報告を依頼
改善策	—	資料5-2	資料6-3
結果の公表	令和7年12月	令和8年3月予定	令和8年3月予定

5. 調査の結果について

(1) がん検診実施状況調査(令和7年度実施分):資料4

指針に沿った検診のみを実施しているのは、6市町村のみ。

(2) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査(令和7年度実施体制、令和5年度精度管理指標把握)

① 調査概要

調査の実施主体	国立がん研究センター がん対策研究所 (県協議会事務局が市町村の回答を取りまとめ)
調査内容	国立がん研究センターが示す「事業評価のためのチェックリスト(令和6年3月改定版)」の実施状況として、以下の2つを調査。 調査1: 令和7年度のがん検診実施体制 調査2: 令和5年度の精度管理指標把握状況
回答方法	各設問に対し、「○」「×」「△」のいずれかを選択する。(△は、今後実施予定だが回答時点ではまだ時期が来ていない場合)
回答の照会	「○」「△」と回答すべき項目において、「×」と回答している場合は、市町村に照会している。該当項目は以下のとおり。 ・集団検診: 問6-2~問15-2-3。(問6-2-4除く) ・個別検診: 問6-2~問6-2-3、問7-1~問15-2-3(問6~15における検診機関別を除く)
評価方法	・調査1及び調査2をいずれも「実施」と回答した市町村を評価対象とする。 ・昨年度同調査と比較し、調査項目が10項目増えている。この増えた項目は、今年度は、評価対象外とする。 ・評価基準は、昨年度と変更なし。
備考	・次年度は、問1-2-1(未受診者への再勧奨)は集計対象外とする。これは、調査実施主体である国立がん研究センターが当調査で独自に追加した項目である為。

② 調査結果:資料5、資料5-1

- ・ 資料5に集団検診、個別検診の結果を市町村別に示しております。
- ・ 評価別にみると、集団検診は[A:6、B:20、C以下:該当なし]で、個別検診は、[A:該当なし、B:22、C:2、D以下:該当なし]で、昨年度評価と比較すると集団・個別ともに変化はありませんでした。
- ・ 調査項目別の実施状況において、集団・個別ともに「×(未実施)」と回答している市町村が多いのは、「受診率向上体制(問1-2、1-2-1)」でした。この項目は、宮崎県の他のがん検診及び全国結果(R6年度同調査)においても実施状況が低い結果となっていました。
- ・ 「検診機関の質の担保(問6)」については、事務局において集団検診機関を対象とした調査結果を市町村と共有しています。よって集団検診では実施状況は改善していますが、個別検診は昨年度同様の結果となっております。

③ 未実施項目の理由と今後の改善方法:資料5-2

評価「C」以下の市町村には改善を促すための通知をし、未実施項目の理由と改善方法を報告していただきました。

(3) 精度管理指標数値(プロセス指標)の調査(令和5年度実施分)

① 調査概要

調査の実施主体	宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会
調査内容	令和5年度実施分 ・対象年齢は、20-74歳・20-39歳・40-74歳の3区分 ・検診受診率、要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応適中度
回答方法	令和6年度地域保健・健康増進事業報告のデータを基に県協議会事務局で集計表作成。その集計表を調査票として照会依頼。
回答の照会	昨年度の集計表と比較し、数値が大きく変化している場合や計上方法に誤り等がある場合は、回答後に照会している。
評価方法	厚生労働省報告書「がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」に沿った評価基準に今年度から変更。(資料6)

② 調査結果:資料 6、資料 6-1、資料 6-2

- ・ 資料 6 に集団検診、個別検診の結果を市町村別に示しております。
- ・ 集団検診を実施している 26 市町村のうち精検受診率 90%未満だったのは、10 市町村でした。20-74歳の県平均の精検受診率は、前年度と比較すると86.6%から74.3%と12.3ポイント下がっています。
- ・ 個別検診を実施している 24 市町村のうち精検受診率 90%未満だったのは、13 市町村でした。20-74歳の県平均の精検受診率は、前年度と比較すると76.6%から66.5%と10.1ポイント下がっています。
- ・ 年齢区分毎の集計では、集団検診・個別検診のいずれも 20-39 歳の方が 40-74 歳の年齢区分よりも精検受診率が低い結果となっています。
- ・ 資料 6-2 に指針外検診の結果を示しております。

③ 精検受診率 90%未満の理由と今後の改善方法:資料 6-3

精検受診率 90%未満の市町村には改善を促すための通知をし、その理由と改善方法を報告していただきました。

6. 今後の課題と方針

(1) がん検診実施状況調査

引き続き、検診実施状況を確認し、指針に沿った検診実施を市町村にお願いしてまいります。

(2) がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査

- ・ 今年度調査で新たに増えた 10 項目は「検診機関の質の担保」であり、次年度から評価対象となるため、個別検診においては全体的に評価が悪くなること予想されます。
- ・ 当協議会事務局としては、「検診機関の質の担保」の基本的な部分である「問 6-1～問 6-1-2」の実施状況について詳細を確認し、課題等の把握に努めたいと考えております。

(3) 精度管理指標数値(プロセス指標)の調査(令和5年度実施分)

- ・ 精検受診率 90%を達成するための理由を市町村に確認すると、現状で精検受診勧奨・再勧奨を実施していることが確認できました。当協議会事務局としては、引き続き「精検受診の有無の把握と受診勧奨」の方法について情報提供したいと考えております。
- ・ 精密検査機関から返却のある精密検査結果報告書では、精密検査として実施された検査方法によって計上する区分が異なることがあります。(資料 6-4)精検結果を正しく計上していただけるよう情報提供したいと考えております。(細胞診・HPV 検査の併用検診の計上方法含む)

市町村におけるがん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況調査結果：子宮頸がん検診・集団検診

○評価基準

評価	非実施項目数	評価内容
A	0	チェックリストをすべて満たしている
B	1～8	チェックリストを一部満たしていない
C	9～16	チェックリストを相当程度満たしていない
D	17～24	チェックリストを大きく逸脱している
E	25～32	チェックリストをさらに大きく逸脱している
F	33以上	チェックリストをきわめて大きく逸脱している
Z	無回答	調査に対して回答がない

評価「C」以下を改善指導の対象とする。

○評価別市町村数（前年度との比較）

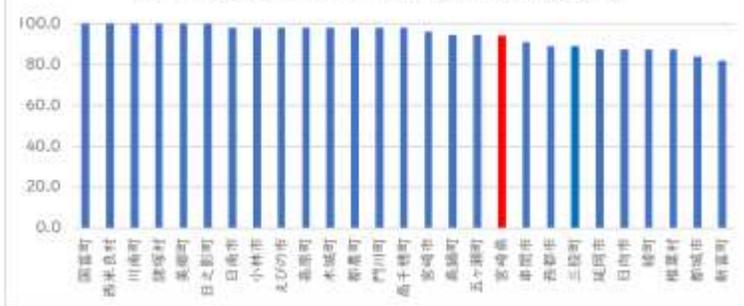
評価	R7年度		R6年度	
	市町村数	割合	市町村数	割合
A	6	23.1%	5	20.0%
B	20	76.9%	20	80.0%
C	0	0.0%	0	0.0%
D	0	0.0%	0	0.0%
E	0	0.0%	0	0.0%
F	0	0.0%	0	0.0%
Z	0	0.0%	0	0.0%
	26		25	

調査項目は、市区町村用チェックリスト56項目です。「○(実施した)」、「×(実施しない)」、「△(実施予定)」のいずれかにより回答しています。「×」回答数により評価を行い、全項目のうち「○」と回答した項目の割合が実施率(遵守状況)となります。

市町村名	実施項目数	非実施項目数	実施率	評価	
				R7年度	R6年度
1 宮崎市	54	2	96.4	B	B
2 都城市	47	2	83.9	B	B
3 延岡市	49	2	87.5	B	B
4 日南市	55	1	98.2	B	B
5 小林市	55	1	98.2	B	B
6 日向市	49	2	87.5	B	B
7 串間市	51	1	91.1	B	-
8 西都市	50	1	89.3	B	B
9 えびの市	55	1	98.2	B	B
10 三股町	50	1	89.3	B	B
11 高原町	55	1	98.2	B	B
12 国富町	56	0	100.0	A	A
13 綾町	49	3	87.5	B	B
14 高鍋町	53	2	94.6	B	B
15 新富町	46	4	82.1	B	B
16 西米良村	56	0	100.0	A	A
17 木城町	55	1	98.2	B	B
18 川南町	56	0	100.0	A	A
19 都農町	55	1	98.2	B	B
20 門川町	55	1	98.2	B	B
21 諸塚村	56	0	100.0	A	B
22 椎葉村	49	1	87.5	B	B
23 美郷町	56	0	100.0	A	A
24 高千穂町	55	1	98.2	B	B
25 日之影町	56	0	100.0	A	A
26 五ヶ瀬町	53	1	94.6	B	B
宮崎県	52.9	1.2	94.5	-	-

※宮崎県の値は、市町村の積み上げの平均による。

令和7年度チェックリスト実施率(子宮頸がん・集団)



子宮頸がん検診・個別検診

○評価基準

評価	非実施項目数	評価内容
A	0	チェックリストをすべて満たしている
B	1～8	チェックリストを一部満たしていない
C	9～16	チェックリストを相当程度満たしていない
D	17～24	チェックリストを大きく逸脱している
E	25～32	チェックリストをさらに大きく逸脱している
F	33以上	チェックリストをきわめて大きく逸脱している
Z	無回答	調査に対して回答がない

評価「C」以下を改善指導の対象とする。

○評価別市町村数（前年度との比較）

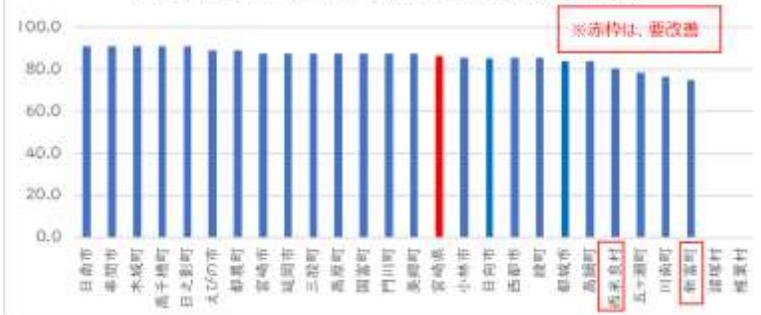
評価	R7年度		R6年度	
	市町村数	割合	市町村数	割合
A	0	0.0%	0	0.0%
B	22	91.7%	21	91.3%
C	2	8.3%	2	8.7%
D	0	0.0%	0	0.0%
E	0	0.0%	0	0.0%
F	0	0.0%	0	0.0%
Z	0	0.0%	0	0.0%
	24		23	

調査項目は、市区町村用チェックリスト56項目です。「○(実施した)」、「×(実施しない)」、「△(実施予定)」のいずれかにより回答しています。「×」回答数により評価を行い、全項目のうち「○」と回答した項目の割合が実施率(遵守状況)となります。

市町村名	実施項目数	非実施項目数	実施率	評価	
				R7年度	R6年度
1 宮崎市	49	7	87.5	B	B
2 都城市	47	7	83.9	B	B
3 延岡市	49	2	87.5	B	B
4 日南市	51	5	91.1	B	B
5 小林市	48	3	85.7	B	B
6 日向市	48	3	85.7	B	B
7 串間市	51	5	91.1	B	C
8 西都市	48	4	85.7	B	B
9 えびの市	50	1	89.3	B	B
10 三股町	49	7	87.5	B	B
11 高原町	49	7	87.5	B	B
12 国富町	49	7	87.5	B	B
13 綾町	48	8	85.7	B	B
14 高鍋町	47	8	83.9	B	B
15 新富町	42	10	75.0	C	B
16 西米良村	45	11	80.4	C	-
17 木城町	51	5	91.1	B	B
18 川南町	43	6	76.8	B	B
19 都農町	50	6	89.3	B	B
20 門川町	49	7	87.5	B	B
21 諸塚村	-	-	-	-	-
22 椎葉村	-	-	-	-	-
23 美郷町	49	7	87.5	B	B
24 高千穂町	51	5	91.1	B	B
25 日之影町	51	5	91.1	B	B
26 五ヶ瀬町	44	7	78.6	B	C
宮崎県	48.3	6.0	86.3	-	-

※宮崎県の値は、市町村の積み上げの平均による。

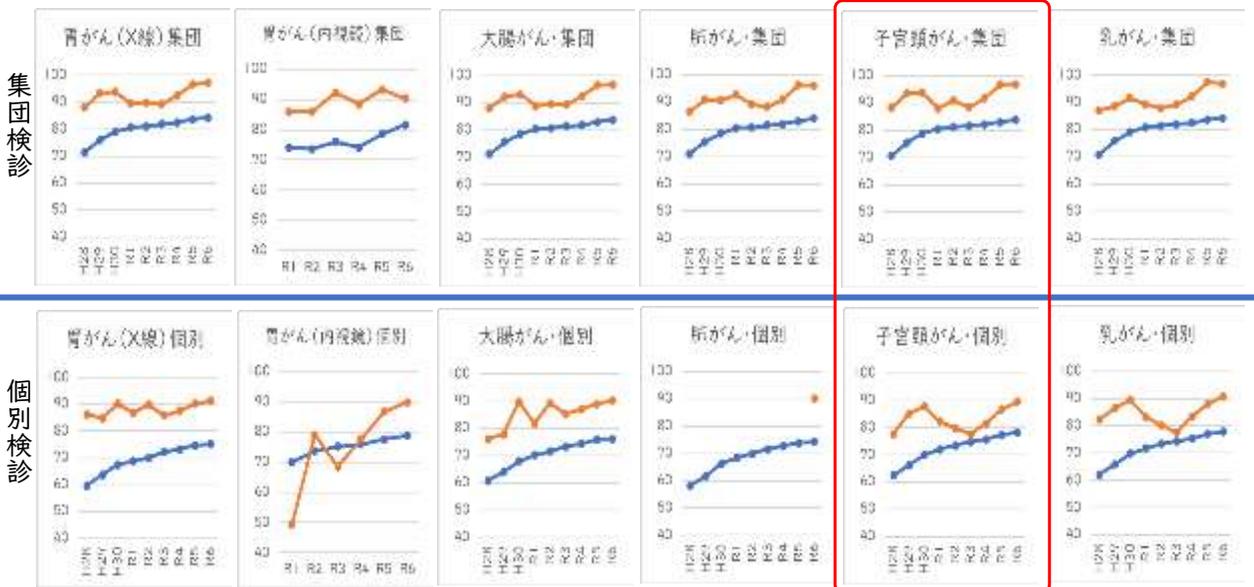
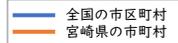
令和7年度チェックリスト実施率(子宮頸がん・個別)



市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査における実施率：宮崎県の推移

宮崎県の実施率は、集団・個別検診ともに全国の実施率を上回っています。

宮崎県の集団と個別を比較すると、個別より集団の方が約0.5~7.5ポイント実施率が高くなっています。



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/screening/di_screening.html#anchor2

令和7年度市区町村における各がん検診チェックリストの使用に関する実態調査設問

*のマークのある設問は今回から追加となった項目(次年度以降評価対象)

調査1 令和7年度のがん検診実施体制整備に関する調査

問1. 検診対象者の情報管理

問1-1 対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか

問1-2 対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか

問1-2-1 受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか

問1-3 対象者数(推計でも可)を把握しましたか

問2. 受診者の情報管理

問2-1 個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しましたか

問2-2 過去5年間の受診歴を記録していますか

問3. 受診者への説明、及び要精検者への説明

問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1. 対象者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか

問3-2 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名(医療機関名)の一覧を提示しましたか

問3-2-1 上記「問3-2」の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか

問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨

問4-1 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を把握しましたか

問4-2 精密検査方法及び、精密検査(治療)結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか

問4-3 個人毎の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を、市町村、検診機関(医療機関)、精密検査機関が共有しましたか

問4-4 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を記録していますか

問4-5 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか

問4-6 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか

問5. 地域保健・健康増進事業報告

問5-1 がん検診結果や精密検査結果の最終報告(令和6年度地域保健・健康増進事業報告)を行いましたか

問5-2 がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先(検診機関(医療機関)、医師会など)に報告を求めましたか

問5-3 がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

問5-4 精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先(検診機関(医療機関)、精密検査機関、医師会など)に報告を求めましたか

問5-5 精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか

問6. 検診機関(医療機関)の質の担保

問6-1 委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか

問6-1-1 仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか

問6-1-2 検診終了後に委託先検診機関(医療機関)で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認しましたか

* 問6-2 検診終了後に市区町村全体の精度管理評価と体制改善を行いましたか

* 問6-2-1 「市区町村用チェックリスト」の遵守状況を把握し、評価を行いましたか(自己点検)

* 問6-2-2 「市区町村用チェックリスト」の遵守状況及びプロセス指標値の評価をふまえて、市区町村全体の課題を抽出しましたか

* 問6-2-3 抽出した課題について改善策を検討していますか。もしくは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会等から改善策のフィードバックを受けましたか

* 問6-2-4 改善策の実行に努めましたか

* 問6-3 検診終了後に委託先検診機関(医療機関)の精度管理評価を行いましたか

* 問6-3-1 委託先検診機関(医療機関)毎に「検診機関用チェックリスト」の遵守状況を把握し、評価を行いましたか

*	問6-3-2	委託先検診機関(医療機関)毎にプロセス指標値を把握し、評価を行いましたか
*	問6-3-3	「検診機関用チェックリスト」とプロセス指標値をふまえて、検診機関(医療機関)毎の課題を抽出しましたか
*	問6-3-4	課題のある検診機関(医療機関)について、改善策を検討しましたか
	問6-4	検診終了後に委託先検診機関(医療機関)に精度管理評価と改善策を個別にフィードバックしましたか
	問6-4-1	「検診機関用チェックリスト」の評価を個別にフィードバックしましたか
	問6-4-2	プロセス指標値の評価を個別にフィードバックしましたか
	問6-4-3	課題のある検診機関(医療機関)に改善策を個別にフィードバックし、改善を依頼しましたか

調査2 令和5年度の精度管理指標把握に関する調査

(令和6年度地域保健・健康増進事業報告で報告した令和5年度受診者数や精検結果内訳をもとに集計する各指標値の把握)

問7. 受診者数・受診率の集計	
問7-1	受診者数・受診率の集計
問7-1-1	受診者数・受診率の性別・年齢5歳階級別の集計
問7-1-2	受診者数の検診機関別の集計
問7-1-3	受診者数の検診受診歴別の集計
問9. 要精検率の集計	
問9-1	要精検率の集計
問9-1-1	性別・年齢5歳階級別の集計
問9-1-2	検診機関別の集計
問9-1-3	検診受診歴別の集計
問10. 精検受診率・精検未受診率の集計	
問10-1	精検受診率の集計
問10-1-1	性別・年齢5歳階級別の集計
問10-1-2	検診機関別の集計
問10-1-3	検診受診歴別の集計
問10-1-4	精検未受診率の集計
問11. がん発見率の集計	
問11-1	がん発見率の集計
問11-1-1	性別・年齢5歳階級別の集計
問11-1-2	検診機関別の集計
問11-1-3	検診受診歴別の集計
問12. 陽性反応適中度の集計	
問12-1	陽性反応適中度の集計
問12-1-1	性別・年齢5歳階級別の集計
問12-1-2	検診機関別の集計
問12-1-3	検診受診歴別の集計
問15. 上皮内病変(CIN・AISなど)数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計	
問15-1	上皮内病変(CIN・AISなど)数の区分毎の集計
問15-1-1	年齢5歳階級別の集計
問15-1-2	検診機関別の集計
問15-1-3	検診受診歴別の集計
問15-2	進行度がIA期のがん割合の集計
問15-2-1	年齢5歳階級別の集計
問15-2-2	検診機関別の集計
問15-2-3	検診受診歴別の集計

指導文書回答一覧：未実施項目の理由と今後の改善方法

理由	個別(2町村)		未実施項目の改善に向けた取り組み
	市町村数	割合	
問1. 検診対象者の情報管理			N=2
①個別受診勧奨の体制が整っていない為	1	50%	(新富町) 受診勧奨を行った人に対し、再度の受診勧奨を定期的に行うことはできていないため、受診勧奨時に受診状況を確認する旨を伝えること、名簿を作成し、3か月後くらいに実際に状況を確認するような体制をつくりたい。
③マンパワー不足	1	50%	(新富町) ①記載同じ
問3. 受診者への説明、及び要精検者への説明			N=1
①体制が整っていない為	1	100%	(西米良村) 他自治体の方法を参考にしたいので、ご教示願いたいです。
問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨			N=1
①体制が整っていない為	1	100%	(西米良村) これまでは受診者本人に確認することが主であったため、今後は精密検査結果の取り扱いについてどのようにしているか検診機関に確認します。
問5. 地域保健・健康増進事業報告			N=1
①体制が整っていない為	1	100%	(西米良村) 検診終了後に検診機関に精度管理評価をフィードバックすることから始めます。
問6. 検診機関(医療機関)の質の担保			N=2
①検診機関と精度管理評価について共有する体制ができていない為	2	100%	(西米良村) 検診終了後に検診機関に精度管理評価をフィードバックすることから始めます。 (新富町) 委託先検診機関との協議時に、検診を実施する上で仕様書の内容について再度共有・確認し、仕様書に沿ってできていない部分があればフィードバックし改善してもらうようにしたい。また、仕様書については精度管理項目を満たすものに作成し直した上で、次年度の検診委託を行うようにしたい。
問11. がん発見率の集計 問12. 陽性反応適中度の集計 問13. 早期がん割合の集計 問15. 上皮内病変(CIN・AISなど)数の区分毎の集計、進行度がIA期のがん割合の集計			N=1
①集計する体制が整っていない	1	100%	(新富町) 個別検診委託機関については、全体の集計は出すものの、各医療機関ごとの集計は行っていない。そのため、各医療機関ごとのがん発見率についても集計するようにしたい。